

4月 たかつかやま 高柄山報告

今回の山行は山梨百名山の高柄山(733m)です。低山ですが、意外と山深さがあり、アップダウンのきつい歩きがいのあるコースです。JR中央本線の高尾～大月の間、四方津駅に8時30分集合。駅は数人が降り立つのみです。

駅から車道を行きますが途中の民家のまわりに植えられた花々がきれいに咲いています。やがて登山道に入りますが木々に囲まれ、見通しの無い、なだらかな登りが続きます。1時間40分も歩いたでしょうか、いいかげんに飽きた頃、急にまわりが開け、富士山が白い頭を出している、お座敷ノ松につきます。一休み後、しばらく登ると大丸山(730m)です。ここから二つピーク先にこれから向かう高柄山(733m)が望めます(写真)。両者の標高差は3mしかありませんが、この間がアップダウンの連続となります。さあこれからが本番です。60mを一気にくだります。今までせっかく登ってきたのにと、ため息が出そうです。アップダウンをくりかえします。千足峠で一息入れ、最後の登りに入り、やがて高柄山頂です。開けた気分の良いところで、上野原の街並みと、御前山、百蔵山、扇山、丹沢の山々が一望されます。ゆっくり一時間の昼食休みをとりましたが、のんびりすぎたでしょうか。下山は千足峠へ戻り、一気に下ります。急なジグザクをくりかえし、やがて沢を渡り、そして、流れや、小さな滝と、結構水量豊になった千足沢沿いに下ります。やがて山里に出ますが、ここも花々に満ちています。里の人達が手入れし、毎年花を咲かせ、通る人々を喜ばせているのでしょうか。のどかな気分になります。

やがて3時頃に四方津駅に到着、本日の行程はこれにて終了、3時30分には高尾にてビールで乾杯です。今日は日差しも暖かく、コースも東京近郊と近く、登りあり、下りあり、展望も、また水豊かな沢沿いの道、山里の花々と変化ある面白味を味わった一日でした。

2016年4月10日 リーダー 伊藤 (記)

